

匠の DNA 研究事業【新規】

【趣旨】

地場産業の振興を目的に様々な施策を実施しているところではあるが、業界によって、現状抱える課題等には、違いがあり、それに合わせた施策も求められている。このことから、以下の事業を実施することで、今後の地場産業振興施策の検討に資するレポートをまとめる。

【概要】

①地場産業の歴史・背景整理

当該地場産業が生まれた背景と現在に至るまでの歴史を、過去の資料や職人へのヒアリング等により整理する。

②業界の現状調査・分析

各業界の事業所数や従業員数・出荷額等を業界団体等と連携して調査し、数字から業界の現状を分析する。

③今後の方向性の提示

各業界における、国内外での市場動向等を踏まえた、今後のあるべき姿（ブランドづくり、販路開拓、適正な従業員・後継者数、求められる事業所像等）の提示。これまでの国・府・市の関連施策とその成果、および今後必要とされる施策案。

※本事業は、対象業界を設定し、3年の債務負担で実施することを想定している。

（平成28年度は、刃物業界を対象とし、平成29～30年度に、注染・和ざらし、金属加工業（含自転車）、木材加工の各業界を対象にすることを想定。）